

〔I〕 次の文を読んで、問いに答えなさい。

^(a)南北朝の動乱の中で、室町幕府は地方武士を動員するために、守護の権限を大幅に拡大した。鎌倉幕府の守護の職権であった（ 1 ）に加え、係争中の田畠の稲などを一方的に刈り取ってしまう（ 2 ）を取り締まる権限や、幕府の裁決を強制執行する権限である（ 3 ）などが守護に付与された。また、兵糧の調達のために、守護に荘園年貢の半分を徴収する権限を認めた（ 4 ）が、1352年にはじめて発布された。これは1年の期限つきで近江・美濃・（ 5 ）の3国に限定されていたが、やがて多くの国でくり返し実施され、永続的に行われるようになっていった。のちには、年貢のみならず土地そのものの分割におよぶものもあった。こうして権限を強めた守護の力は荘園にとどまらず（ 6 ）領にもおよび、国司の力が衰えると一国全体を支配する者も現れた。

南北朝の動乱は（ 7 ）が3代将軍になるころには終息に向かい、^(b)南朝の（ 8 ）天皇が北朝の（ 9 ）天皇に譲位して、南北朝の合体が実現した。また、（ 7 ）は軍事力の育成にも努め、古くからの足利氏の家臣、守護の一族、有力な地方武士などからなる幕府直属の武士団として（ 10 ）を編成し、幕府の直轄領である（ 11 ）の管理にあたらせ、守護の動向にも目を光らせた。地方機関として鎌倉府において（ 12 ）に東国の支配を任せ、これを（ 13 ）が補佐し、この職は上杉氏が世襲した。1371年に九州探題として（ 14 ）を派遣し、九州を平定させた。

その後（ 7 ）は、強大となった守護の統制を図った。^(c)1391年には、山陰を中心に11か国の守護を兼ね、（ 15 ）と呼ばれた（ 16 ）を滅ぼし、^(d)1399年には、周防・長門を中心に和泉をあわせて瀬戸内海に勢力を張っていた守護の（ 17 ）を討伐した。こうして有力守護の勢力を削いで地歩を固めた（ 7 ）は、将軍職を辞したのちに（ 18 ）に就任し、朝廷にもにらみをきかせた。

室町時代には、鎌倉時代に引き続いて^(e)臨濟宗が幕府の庇護のもとでさかんとなった。（ 7 ）は、中国の南宋の官寺の制にならった京都・鎌倉の五山や十刹の制を整え、（ 19 ）を五山の上におき、春屋妙葩を（ 20 ）に任じて禅寺の統制や住職の任免、寺領の管理にあたらせた。

問1 空欄（ 1 ）～（ 20 ）に適するものをア～ノの中からそれぞれ一つ選び、その記号を記入しなさい。

- | | | | |
|--------|------------|------------|--------|
| ア 刈田狼藉 | イ 大犯三カ条 | ウ 使節遵行 | エ 徳政令 |
| オ 半済令 | カ 御料所 | キ 国衙 | ク 足利義政 |
| ケ 足利義満 | コ 後亀山 | サ 後醍醐 | シ 後小松 |
| ス 大内義弘 | セ 今川貞世（了俊） | ソ 山名氏清 | タ 奉公衆 |
| チ 関東管領 | ツ 鎌倉公方 | テ 六分の一衆（殿） | ト 太政大臣 |
| ナ 僧録 | ニ 甲斐 | ヌ 尾張 | ネ 建長寺 |
| ノ 南禅寺 | | | |

問2 下線部(a)について、南北朝の動乱は約何年間続いたか。適するものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 20年 イ 40年 ウ 60年 エ 80年

問3 下線部(b)について、南朝の正統性を主張した史論書の『神皇正統記』を著した人物の名を記入しなさい。

問4 下線部(c)について、この戦乱の名称を記入しなさい。

問5 下線部(d)について、この戦乱の名称を記入しなさい。

問6 下線部(e)について、鎌倉時代に臨済宗を伝えた僧の名と主著の組み合わせとして適するものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- | | |
|--------------|--------------|
| ア 道元・『正法眼蔵』 | イ 法然・『興禅護国論』 |
| ウ 栄西・『興禅護国論』 | エ 親鸞・『正法眼蔵』 |

〔Ⅱ〕 次の文を読んで、問いに答えなさい。

1651年に3代将軍徳川家光が死去し、子の（ 1 ）が4代将軍に就任したが、幼少のため叔父で会津藩主の（ 2 ）や譜代大名が将軍を支えた。同年、兵学者の（ 3 ）による慶安の変がおこると、幕府は（ 4 ）の禁を緩和して牢人の増加に歯止めをかけ、1663年には（ 5 ）を禁止して、主人の死後は跡継ぎの新しい主人に奉公することを義務づけた。翌年には、諸大名に（ 6 ）を発給して将軍の権威を確認し、1673年には分割相続による田畑の細分化を防ぐために（ 7 ）を出した。幕政はこのころから、従来の強圧的な武断政治から、儒教をもとに徳をもって治めることを政治理念とする文治主義的な傾向を強めていった。

一方、諸藩においても儒学者を用いて領内統治に注力し、のちに「名君」と呼ばれる大名が現れた。^(a)岡山藩の（ 8 ）は、郷校（郷学）を設け、水戸藩の徳川光圀は江戸に彰考館を設けて『（ 9 ）』の編纂を開始し、加賀藩の（ 10 ）は^(b)朱子学者の（ 11 ）を招聘して学問の振興を図った。

1680年に^(c)綱吉が5代将軍となった。綱吉は堀田正俊を大老に登用したが、正俊が暗殺されると（ 12 ）の^(d)柳沢吉保を重用した。1683年には武家諸法度を改定し、第1条を「文武（ 13 ）を励まし」と改め、儒教倫理を重視する立場を明らかにした。また、江戸の湯島に聖堂を建てて、（ 14 ）を大学頭に任用した。さらに、渋川春海が暦の誤差を修正して独自の（ 15 ）を完成させると、春海は新設された（ 16 ）に任じられた。

綱吉の死後、6代将軍（ 17 ）は、綱吉の（ 18 ）を廃止し、朱子学者の^(e)新井白石が（ 17 ）の信任を受けて幕政を主導し、幼くして7代将軍となった家継の時代にもひき続き政務にあたった。白石は、皇統を保持するために（ 19 ）家を創設するなどして朝廷との結びつきを深める一方、朝鮮通信使については使節の待遇を簡素化し、朝鮮国王から将軍に宛てた国書の宛て名を（ 20 ）に改めさせて将軍の権威の向上に努めた。

問1 空欄（ 1 ）～（ 20 ）に適するものをア～ウの中からそれぞれ一つ選び、その記号を記入しなさい。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1 ア 家宣 | イ 家綱 | ウ 吉宗 |
| 2 ア 松平容保 | イ 保科正之 | ウ 間部詮房 |
| 3 ア 由井（比）正雪 | イ 山県大弼 | ウ 大塩平八郎 |
| 4 ア 殉死 | イ 異学 | ウ 末期養子 |
| 5 ア 殉死 | イ 異学 | ウ 末期養子 |
| 6 ア 老中奉書 | イ 領知宛行状 | ウ 朱印状 |
| 7 ア 慶安の触書 | イ 田畑永代売買の禁止令 | ウ 分地制限令 |
| 8 ア 島津斉彬 | イ 池田光政 | ウ 前田綱紀 |
| 9 ア 本朝通鑑 | イ 大日本史 | ウ 日本開化小史 |
| 10 ア 島津斉彬 | イ 池田光政 | ウ 前田綱紀 |
| 11 ア 木下順庵 | イ 朱舜水 | ウ 熊沢蕃山 |
| 12 ア 側用人 | イ 大目付 | ウ 若年寄 |
| 13 ア 儉約 | イ 弓馬 | ウ 忠孝 |
| 14 ア 林信篤（鳳岡） | イ 林羅山 | ウ 林子平 |
| 15 ア 太陽暦 | イ 宣明暦 | ウ 貞享暦 |
| 16 ア 和学講談所 | イ 天文方 | ウ 蕃書調所 |
| 17 ア 家宣 | イ 家綱 | ウ 吉宗 |
| 18 ア 服忌令 | イ 上知令 | ウ 生類憐みの令 |
| 19 ア 桂宮 | イ 閑院宮 | ウ 伏見宮 |
| 20 ア 日本国大君 | イ 日本国王臣源 | ウ 日本国王 |

問2 下線部(a)について、この郷校（郷学）の名称を記入しなさい。

問3 下線部(b)について、朱子学の基礎となる思想として適するものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 知行合一 イ 神仏習合 ウ 大義名分論 エ 本地垂迹説

問4 下線部(c)について、綱吉の治世下で貨幣改鑄を実施した勘定吟味役（のちの勘定奉行）として適するものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 萩原重秀 イ 萩生徂徠 ウ 室鳩巢 エ 金地院崇伝

問5 下線部(d)について、柳沢吉保が綱吉から与えられた江戸下屋敷に自ら設計した庭園の名称を記入しなさい。

問6 下線部(e)について、新井白石はイタリア人宣教師を尋問して『采覧異言』・『西洋紀聞』を著したが、このイタリア人宣教師の名を記入しなさい。

〔I〕

問 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
問 2										
問 3										
問 4	の乱									
問 5	の乱									
問 6										

〔II〕

問 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
問 2	学校									
問 3										
問 4										
問 5										
問 6										